

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	差別の哲学		
英文授業科目名	Philosophy of Discrimination		
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	中島 義道		
居室	東1-605		

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
差別とは何か？ 人はなぜ差別をするのか？ われわれは差別にどう向き合えばいいのか？ 達成目標は、単なる机上の知識の習得ではなく、こうした問いを、みずからの問いとして、問い続けながら生きていくこと。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし。

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし。

<b>【教科書等】</b>
(例) 教科書：とくになし。 参考書：授業中に適宜紹介する。

## 電気通信大学 平成19年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

1.差別の歴史

2.差別の様態

(1)人種差別 (2)障害者差別 (3)性差別

とくに、以上の3つの様態を取上げて掘り下げる。

3.差別の心理

4.差別の克服

ゼミ形式で、そのつど学士諸君の考えも聞きながら進めていく。毎回出席を採る。適宜レポートを書いてもらう。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

欠席が3日を超えないこと。授業に積極的に参加すること。自分の言葉で語れること。レポート不提出が1回を超えないこと。この条件を充たす限りで、期末試験に半分程度の解答ができていることを最低達成基準(可)とする。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールなどで事前にアポイントを取ること。

### 【学生へのメッセージ】

初回に、出席者全員にレポートを書かせる。テーマは「私はこれまで差別について何を考えてきたか」。レポートを読んで、履修許可者を決め、次週までに発表する。どんなに希望者が多くても、30名まで。初回の欠席者は、いかなる理由があろうと履修できない。

いかげんな態度で授業に出ている者は途中で止めてもらうことがある。

### 【その他】

とくになし。